

# 宍道湖・中海を もっときれいに



いのち  
みんなで守り、はぐくむ生命、  
豊かできれいな宍道湖



みんなで守り、はぐくむ、豊かな中海



宍道湖と中海は、世界的にたいへん重要な湿地であると認められたことから、平成17年11月にラムサール条約湿地として登録され、平成27年に登録から10周年を迎えました。

次世代の人たちに両湖の恵みを残せるよう、引き続き一人ひとりが湖の保全活動に取り組むことが大切です。



宍道湖のシジミ

平成27年11月 島根県



中海のサルボウ貝

## かけがえのない財産

宍道湖と中海は、中国山地を源とする1級河川斐伊川の下流域にあり、大橋川を介して連なる代表的な汽水湖(淡水と海水がまざる湖)として知られています。その広さは宍道湖は全国第7位、中海は全国第5位で、両湖の面積を合わせると全国最大の汽水域になります。

両湖は、優れた景観を創り出すとともに、レクリエーション等の憩いの場や観光資源、魚介類の生息、渡り鳥の飛来などの場として様々な恩恵をもたらす、かけがえのない財産です。

	単位	宍道湖	中海
区分	—	天然湖	天然湖
平均水深 ※1	m	4.5	5.4
湖面積 ※1	km <sup>2</sup>	79.1	86.2
流域面積 ※2	km <sup>2</sup>	1,288.4	595.0
貯水量 ※1	千m <sup>3</sup>	360,000	470,000

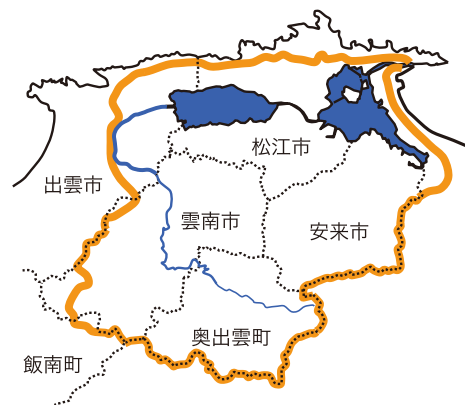
※1 宍道湖には大橋川、中海には境水道を含まない。  
国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所資料より

※2 宍道湖には大橋川流域、中海には境水道流域を含む。  
全国湖沼資料集(第21集)より

## 水はどこから？

宍道湖・中海の流域(右図のオレンジ色で囲まれた範囲内)に降った雨は、河川に流れて宍道湖・中海に流入します。その際、道路上や側溝の汚れ、田畑・山林の栄養も一緒に流入します。

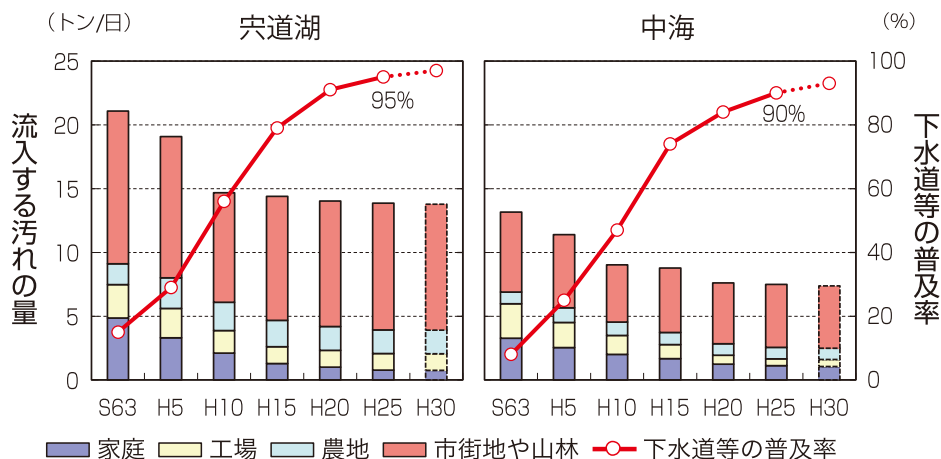
湖沼は、流入した汚濁物質が蓄積しやすく、水質汚濁が進みやすいという特徴があるため、いったん汚濁が進むと水質改善は容易ではありません。



## 流入する汚れの量は減少

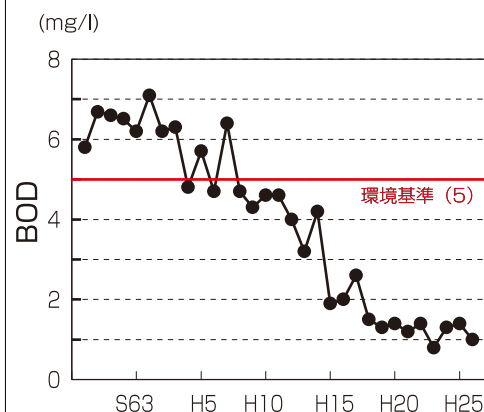
各種施策により、宍道湖・中海に流入する汚れの量(汚濁負荷量)は着実に減少し、流入する都市河川の水質は改善傾向にあります。

宍道湖と中海に流入する汚れの量(COD)



※中海については、島根・鳥取両県の数値を合計したもの  
※H30年度は予測値

宍道湖に流入する河川(馬橋川:馬橋)におけるBODの推移

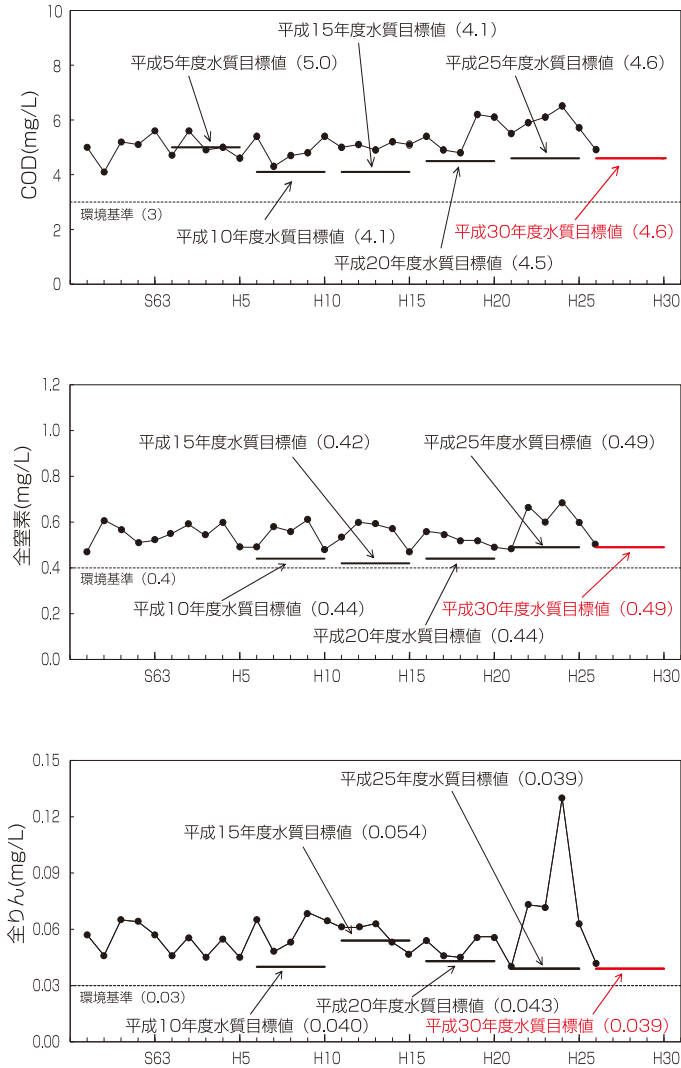


# 水質の状況

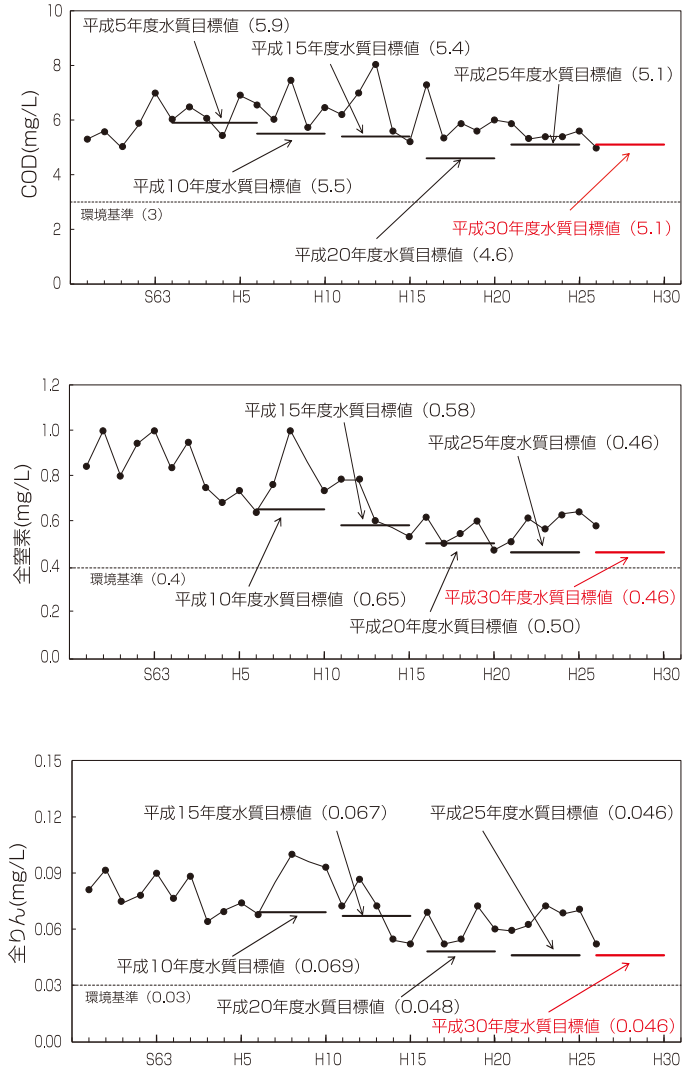
宍道湖・中海の水質は、横ばい、もしくは改善傾向にありますが、生活環境を保全する上で達成することが望ましい環境基準(COD等)を達成していません。

人の健康の保護に関する環境基準(カドミウム等)は、継続して達成しています。

## 宍道湖の水質



## 中海の水質



### 用語解説

#### COD(化学的酸素要求量)

湖沼や海域における水中の有機物による汚濁の程度を示す代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいることを示します。

#### BOD(生物化学的酸素要求量)

河川における水中の有機物による汚濁の程度を示す代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいることを示します。

#### 全窒素、全りん

生物の生育にとって欠かすことのできない代表的な栄養分です。家庭排水や工場排水などにより、湖沼に流入する水に含まれる窒素やりんが必要以上に増加すると、湖沼の富栄養化を促進し、やがてプランクトンが異常に増加するようになります。

### 宍道湖・中海における水質調査地点



# 宍道湖・中海をもっときれいに！

～一人ひとりが汚れを出さない取組にご協力を～

## <壊すのも人間、守るのも人間>

時代の流れで生活が便利になることは良いことですが、それも度を過ぎると自然を汚すことへつながります。わたしたちができることから始めましょう。

### 特にみなさまに お願いしたい取組

#### ●浄化槽の適正使用、適正管理につとめましょう。

浄化槽はどんな汚水でも浄化できるわけではありません。鍋やお皿の汚れ、油汚れなどをふき取ってから洗うなど、浄化槽への負荷を少なくしましょう。

また、保守点検、清掃及び法定検査を行い、適正に管理しましょう。

#### ●道路や河川などの清掃活動に参加し、湖沼への泥やゴミの流出を防ぎましょう。

除草した草などは放置しないで適正に処分し、河川等へ流出しないようにしましょう。

#### ●田んぼの代かき時などに適正な水管理を行い、濁りや肥料成分の流出をできるだけ少なくしましょう。

#### ●ボランティアや環境学習などに参加し、美しい湖沼環境を守る輪を広げましょう。

#### ●五感による湖沼環境調査へ参加し、宍道湖・中海の状況を観察しましょう。

## 【水質浄化、汚濁負荷削減につながるいろいろな取組】

わたしたちができることから始めましょう

### 家庭での取組

- ・調理くずの流出防止
- ・生ゴミのコンポスト容器などによる堆肥化
- ・鍋やお皿の汚れ、油汚れのふき取り
- ・廃食用油の回収
- ・石けんまたは合成洗剤の適正使用
- ・浄化槽等の適正使用、適正管理

フライパンや鍋、お皿の汚れはまず古紙や古布で拭きとってから洗いましょう。



油はなるべく使いきるように工夫し、使えなくなった油は、流しに流さないようにしましょう。廃食用油の回収に出すか、古紙等にしみこませてゴミとして出しましょう。

廃食用油を自治体が回収している所は回収を活用しましょう！



### 森林整備



間伐作業

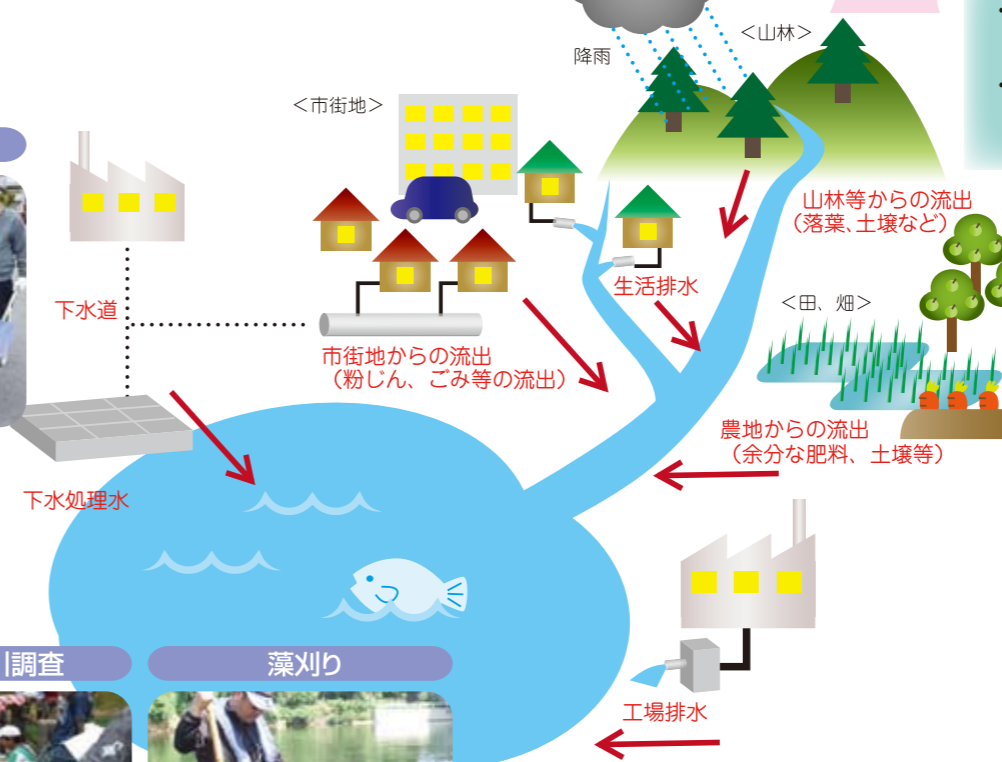
### 山林での取組

- ・森林の適正管理（植林、下刈り、除伐、間伐等）
- ・治山、砂防施設の建設（えん堤工、山腹工等）

### 市街地での取組

- ・道路路面、道路側溝、水路の清掃
- ・公園等の清掃、地域の美化活動

#### 清掃活動



### 流入河川の直接浄化の取組

- ・河川のしゅんせつ
- ・堤防の除草等
- ・河川内の藻刈

#### ヨシ刈りボランティア



#### 流入河川調査



#### 藻刈り



### その他の取組

- ・ボランティアによるヨシの刈り取り（堆肥化、草抑え利用等）
- ・栄養塩の回収に繋がる藻の刈り取り（海藻肥料の活用）
- ・シジミの消費（栄養塩の持ち出し効果あり）
- ・環境学習の実施、普及啓発
- ・子ども達の水質保全に対する意識の向上（みんなで調べる流入河川調査）
- ・五感による湖沼環境調査（湖沼環境モニター）
- ・各種団体による環境学習等
- ・イベントでのリユース食器の積極的な使用

\*海藻肥料、ヨシの草抑え利用など、興味のある方は是非ご連絡を！（連絡先は裏面に記載しています。）

### 浅水代かき



濁水ストップ！



### 農業地域での取組

- ・低成分肥料・緩効性肥料・有機質肥料の使用
- ・排水路の泥上げ
- ・代かき時の濁水流出防止等の適正な水管理（浅水代かき、田植え前の落水量の低減）
- ・側条施肥田植え機の活用
- ・土壌診断等に基づく減肥
- ・水田農薬散布後の「7日間」の止水
- ・エコファーマー制度、エコロジー農産物推奨制度の活用
- ・環境保全型農業直接支払等の活用
- ・畜舎管理の適正化
- ・家畜排せつ物の管理の適正化および適正利用の促進

# 第6期湖沼水質保全計画

対象期間:平成26～30年度(2014～2018年度)

## 長期ビジョン (望ましい湖沼の将来像)

宍道湖: みんなで守り、はぐくむ<sup>いのち</sup>生命、豊かできれいな宍道湖

中海: みんなで守り、はぐくむ、豊かな中海

## 主な対策

### ①水質の保全に資する事業

- ・ 下水道の整備
- ・ 農業集落排水処理施設の整備等
- ・ 浄化槽の整備
- ・ 浅場造成、覆砂など

### ②水質の保全のための規制その他の措置

- ・ 工場、事業場排水対策
- ・ 生活排水対策
- ・ 畜産に係る汚濁負荷対策
- ・ 非特定汚染源対策 (農業地域、市街地、山林)
- ・ 流出水対策地区の指定
- ・ 緑地の保全その他自然環境の保護

### ③その他の水質の保全のために必要な措置

- ・ 公共用水域の水質の監視 (新たな指標の設定 (※)) および調査
- ・ 調査研究の推進と対策の検討
- ・ 総合的な流域管理の取り組み
- ・ 住民の理解と協力および参加による保全活動の促進 等



宍道湖を走る観光船



宍道湖の夕日



中海の水鳥

## 平成25年度現在の水質と平成30年度の水質目標

単位: mg/L

	COD		全窒素		全りん	
	平成25年度	平成30年度	平成25年度	平成30年度	平成25年度	平成30年度
宍道湖	5.7	4.6	0.60	0.49	0.063	0.039
中海	5.6	5.1	0.64	0.46	0.070	0.046

## ※長期ビジョン実現に向けての新たな指標の設定<新規設定>

上記による従来水質目標に加えて、両湖の特性や特徴を踏まえた以下の指標を設けました。

- 親しみやすく、分かりやすい環境指標による評価(宍道湖・中海)  
地域住民がモニターとして参加している「五感による湖沼環境調査」を評価指標として、地域住民が親しみやすいと感じられる水環境(80点以上)を目指します。
- 良好な生物生息環境による評価(宍道湖)  
汽水域の生物(ヤマトシジミなど)が安定的・持続的に生息するような生物生息環境を目指します。
- 見た目にも快適と感じられる水環境に向けた評価(中海)  
レクリエーション等で多くの人が集まる機会があり、水質改善の必要性が高い米子湾において、透明度が概ね2m以上となることを目指します。

[編集・発行]

島根県 環境生活部 環境政策課 宍道湖・中海対策推進室

〒690-8501 松江市殿町1番地

TEL0852-22-5562 FAX0852-25-3830 [http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko\\_nakaumi/](http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/)